

SaaSとこれからの情報通信産業

2009年5月28日

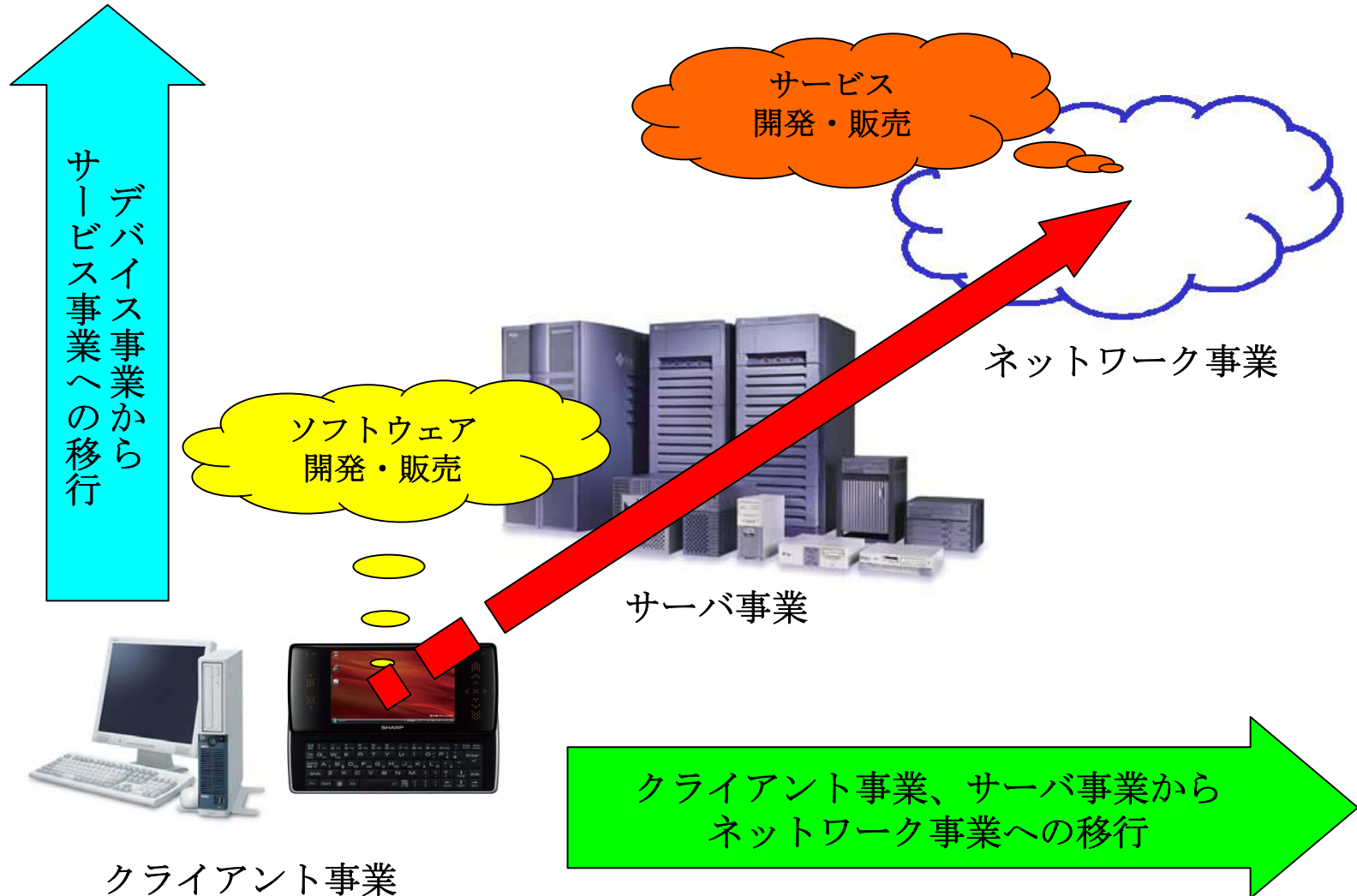


株式会社 きっとエイエスピー

代表取締役社長 松田利夫

なぜ、今、SaaS なのか？
—情報通信産業界の事情—

重心が移行しつつある情報通信技術市場



情報通信技術関連業界事情

Software as a Service／Cloud Computingは、
コンピュータ・ハードウェア／ソフトウェア・ビジネスが
ネットワーク中心型へ移行する過渡期を象徴する現象

ソフトウェア業界の事情：

ソフトウェアの売上が伸び難くなった。新たな売れ筋製品が出難くなっている。外部情報資源利用に対するユーザの抵抗感が無くなり、システム・インテグレータは事業モデルの変更を迫られている。

ハードウェア業界の事情：

ハードウェア・ビジネスは廉価量販の時代に入っており、ハードウェア依存型ビジネスからの脱却を迫られている。

通信事業者の事情：

音声中心のサービスから、娯楽コンテンツやビジネス・コンテンツへ比重を移す必要に迫られている。

情報通信業界のパラダイム・シフト

急速に衰退する
従来の情報通信ビジネス・モデル

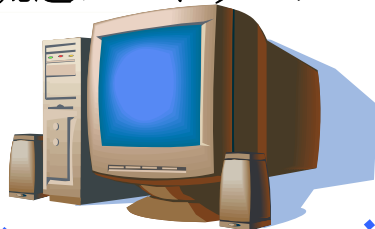
クラウド上に展開される
新しい情報通信ビジネス・モデル



音声通話の無料化

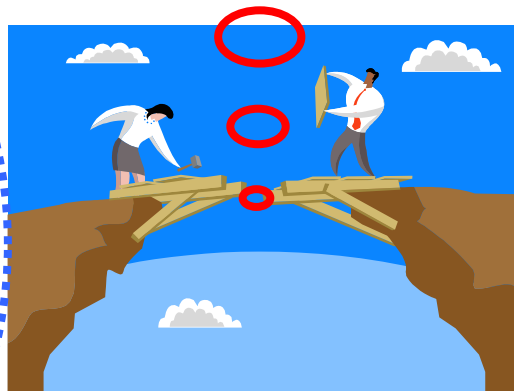


流通ソフトウェアの不振

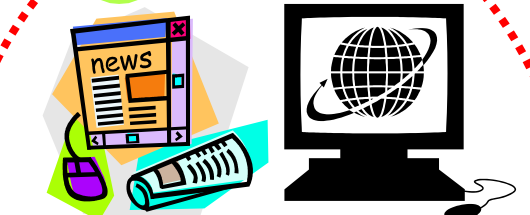


ハードウェアのコモディティ化

SaaS
Cloud
Computing



パラダイム・シフト
の架け橋



インターネットの社会基盤
としての確立

クラウド上のサービスの
増加と普及

SaaSは通信キャリア・ビジネス

世界の主要通信会社によるSaaSビジネス状況



世界各地域の主要通信会社は、現在、SaaS事業の立上げを急いでいる。ここ1，2年以内に、多くの主要通信会社がSaaS事業に参入するものと見られる。

SaaS(Software as a Service)とは何か？
きっとエイエスピー社の理解

全員参加型SaaS市場

いろいろな情報通信系企業がSaaS市場への参入を考えています

通信事業会社



ハードウェア・ベンダー



システム・インテグレータ



情報製品販売



情報製品流通



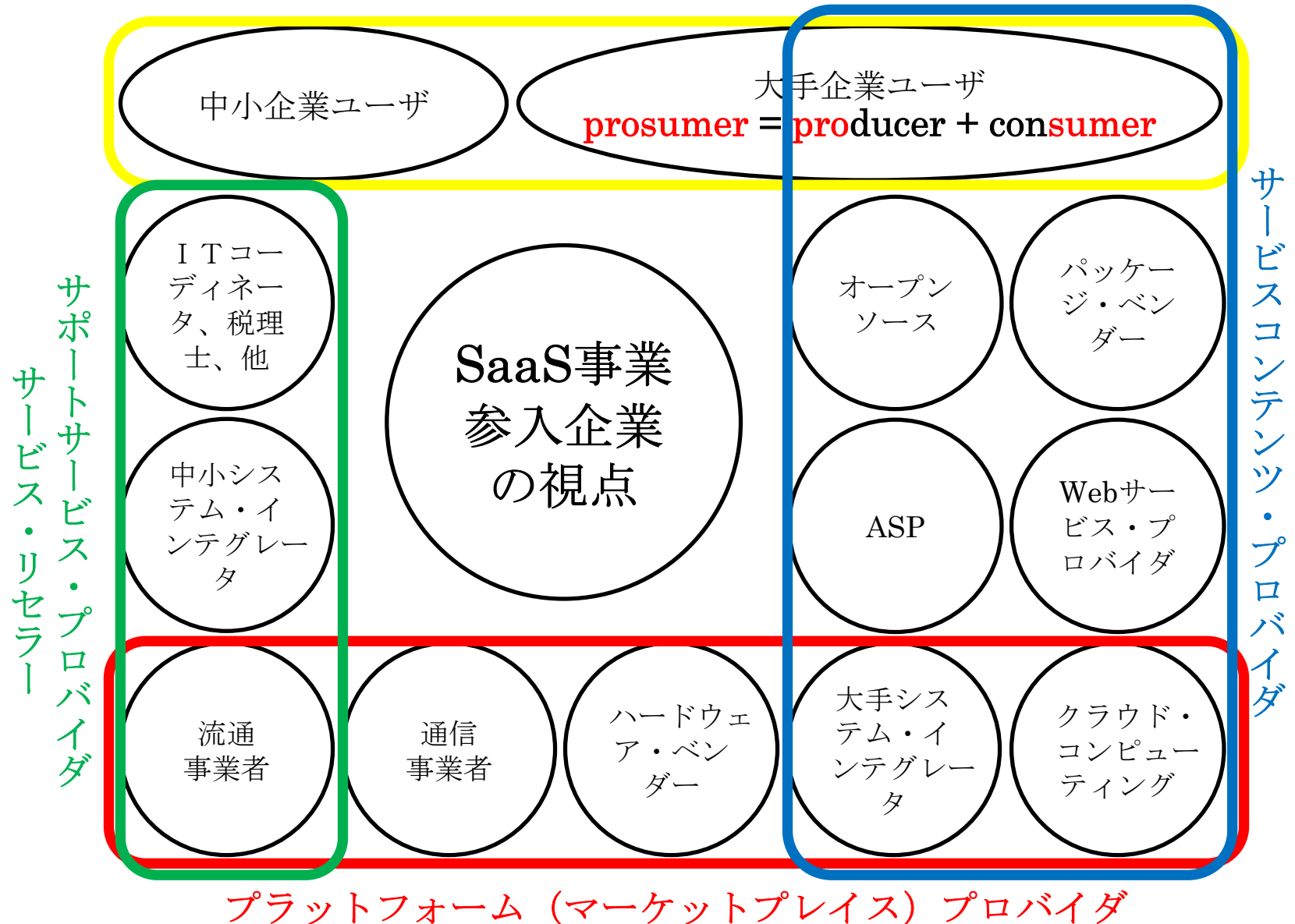
ソフトウェア・ベンダー



海外情報系企業



SaaSエコシステムを構成するプレイヤー



Salesforce.com = SaaS事業モデル？

単純に  = SaaS と

理解するだけでは、

この状況を説明できません。

それでは、SaaSとは何なのでしょう？

SaaSというトレンドをどのように捉えるべきなのでしょう？

SaaS 化対象はアプリケーションだけではない

Amazonに見る SaaSトレンド



これだって
SaaS!!

Data as a Service

- Amazon e-Commerce Service
- Amazon Historical Pricing

Infrastructure as a Service

- Amazon Simple Queue Service
- Amazon Simple Storage Service
- Amazon Elastic Computing Cloud

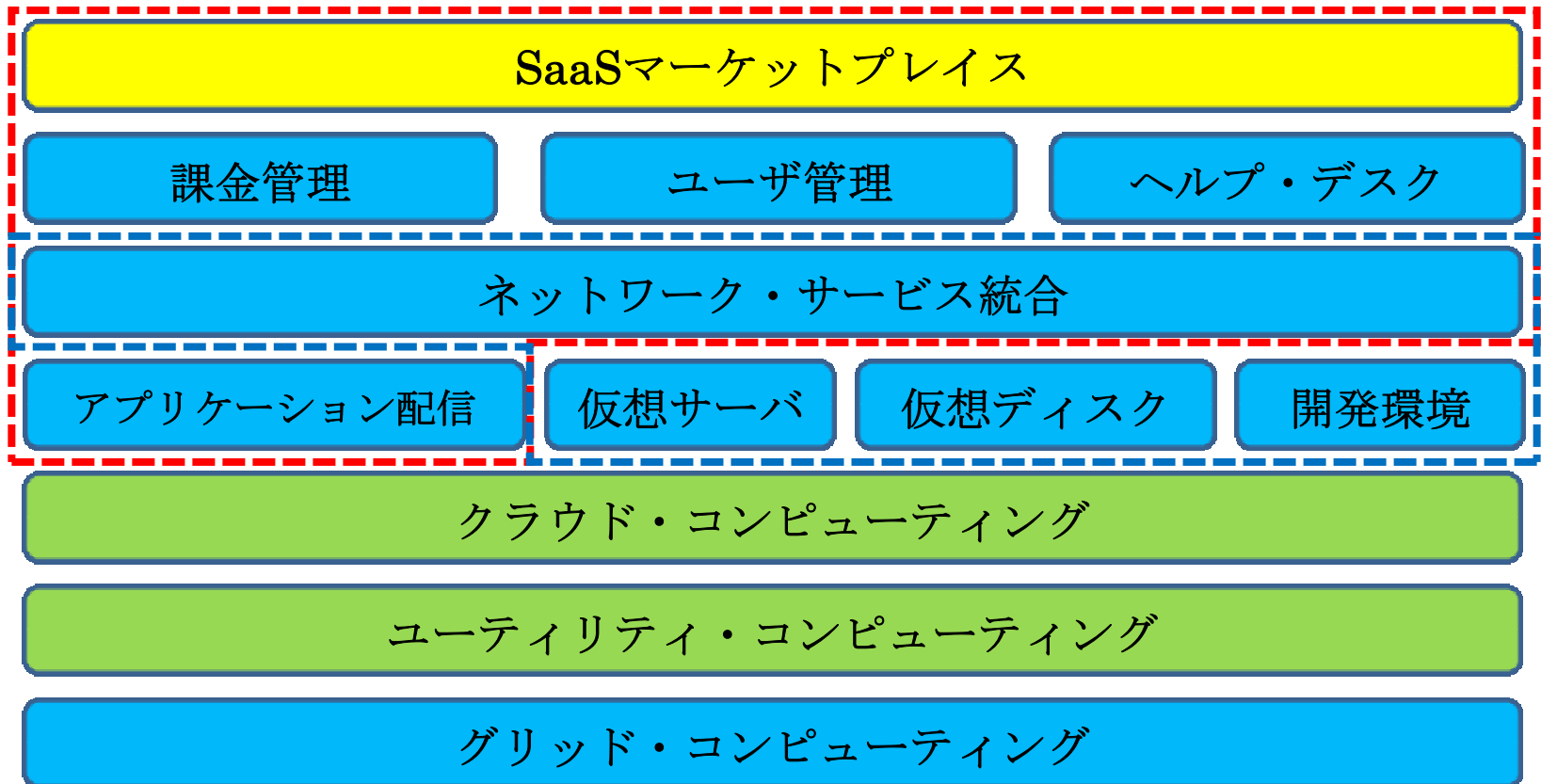
Search as a Service

- Alexa Web Information Service
- Alexa Top Sites
- Alexa Site Thumbnail
- Alexa Web Search Platform

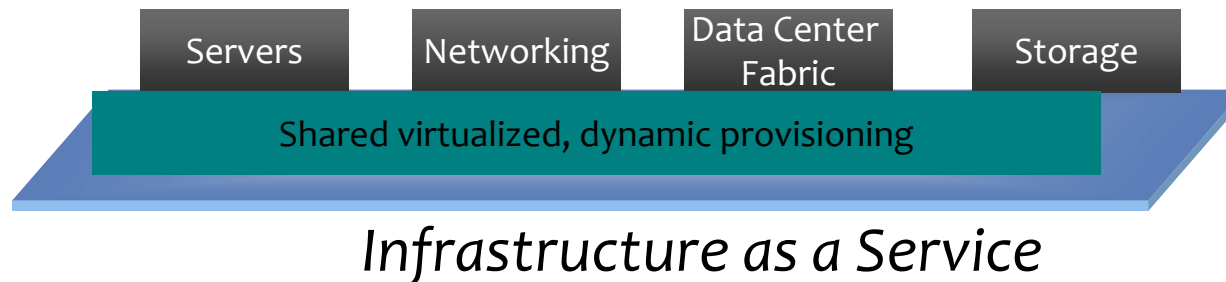
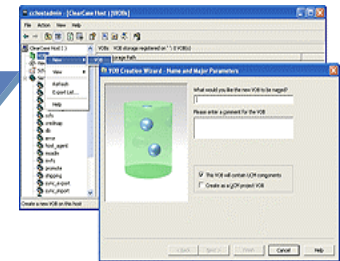
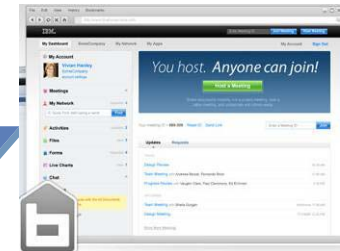
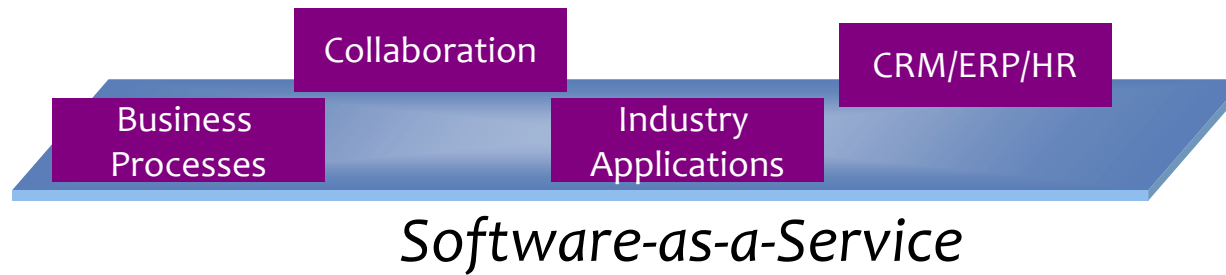
People as a Service

- Amazon Mechanical Turk

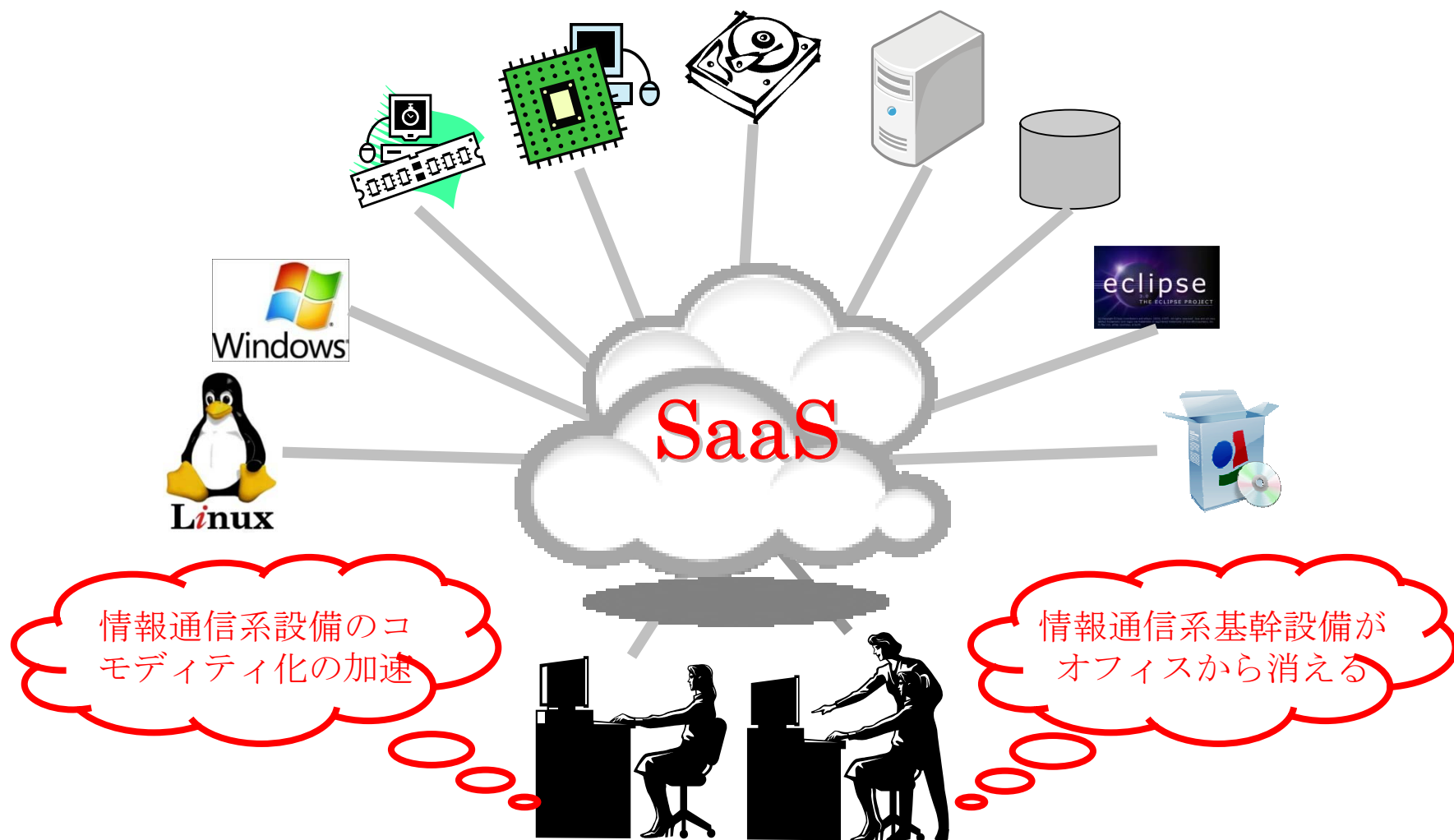
Software as a Service, Platform as a Service, Cloud Computing関連図



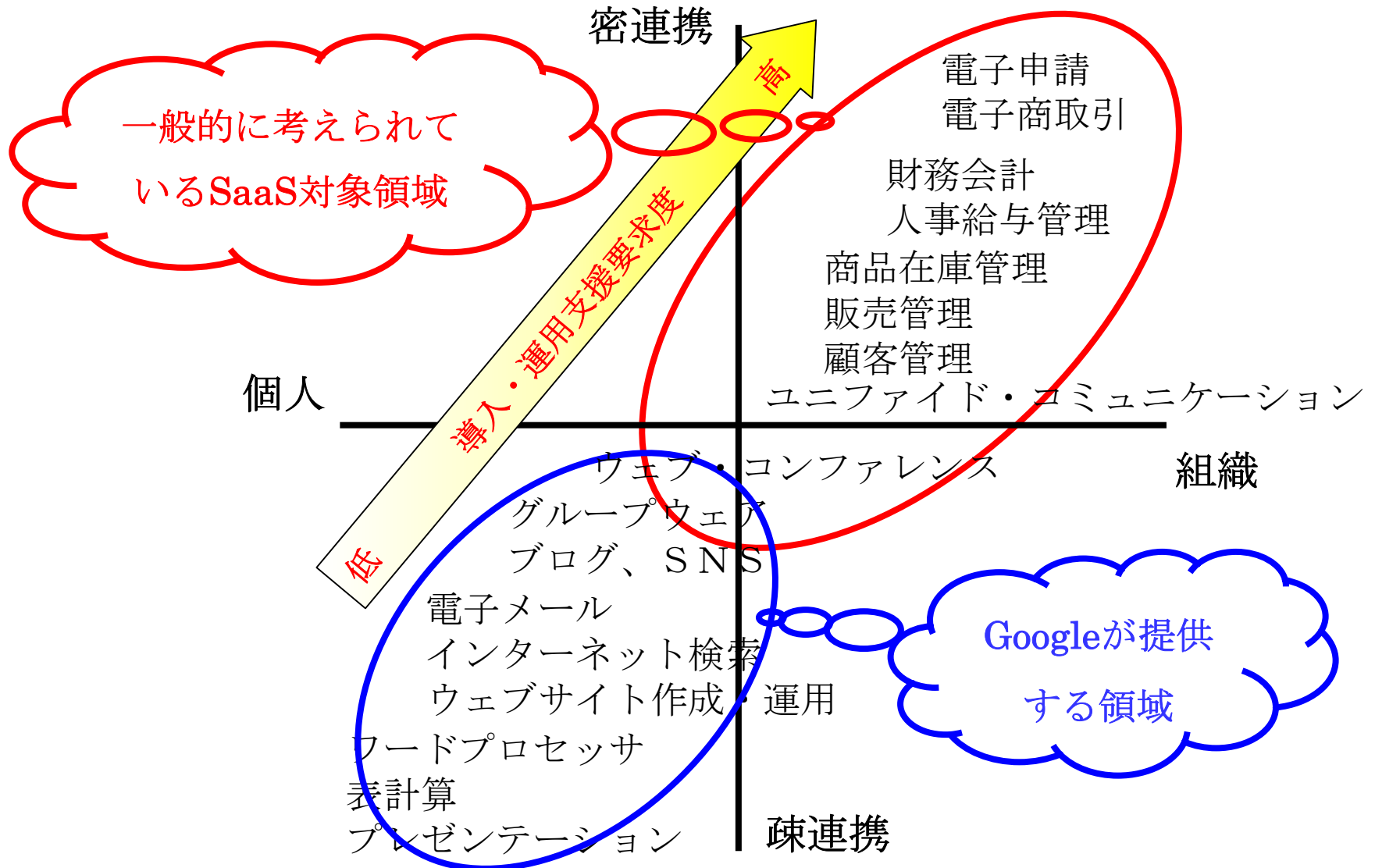
IT-as-a-Serviceを構成する階層



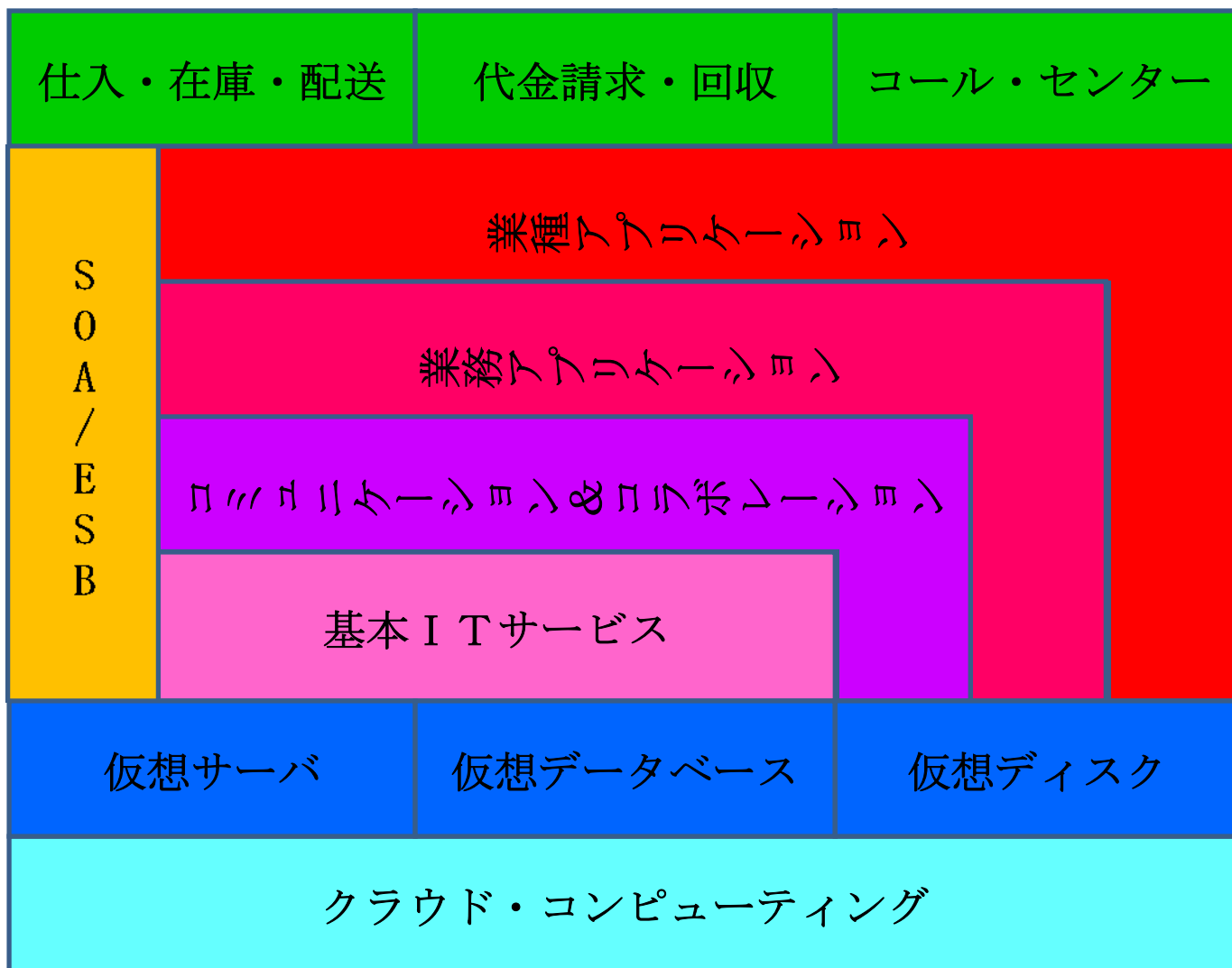
情報系設備資源がクラウド上で調達、利用可能になる



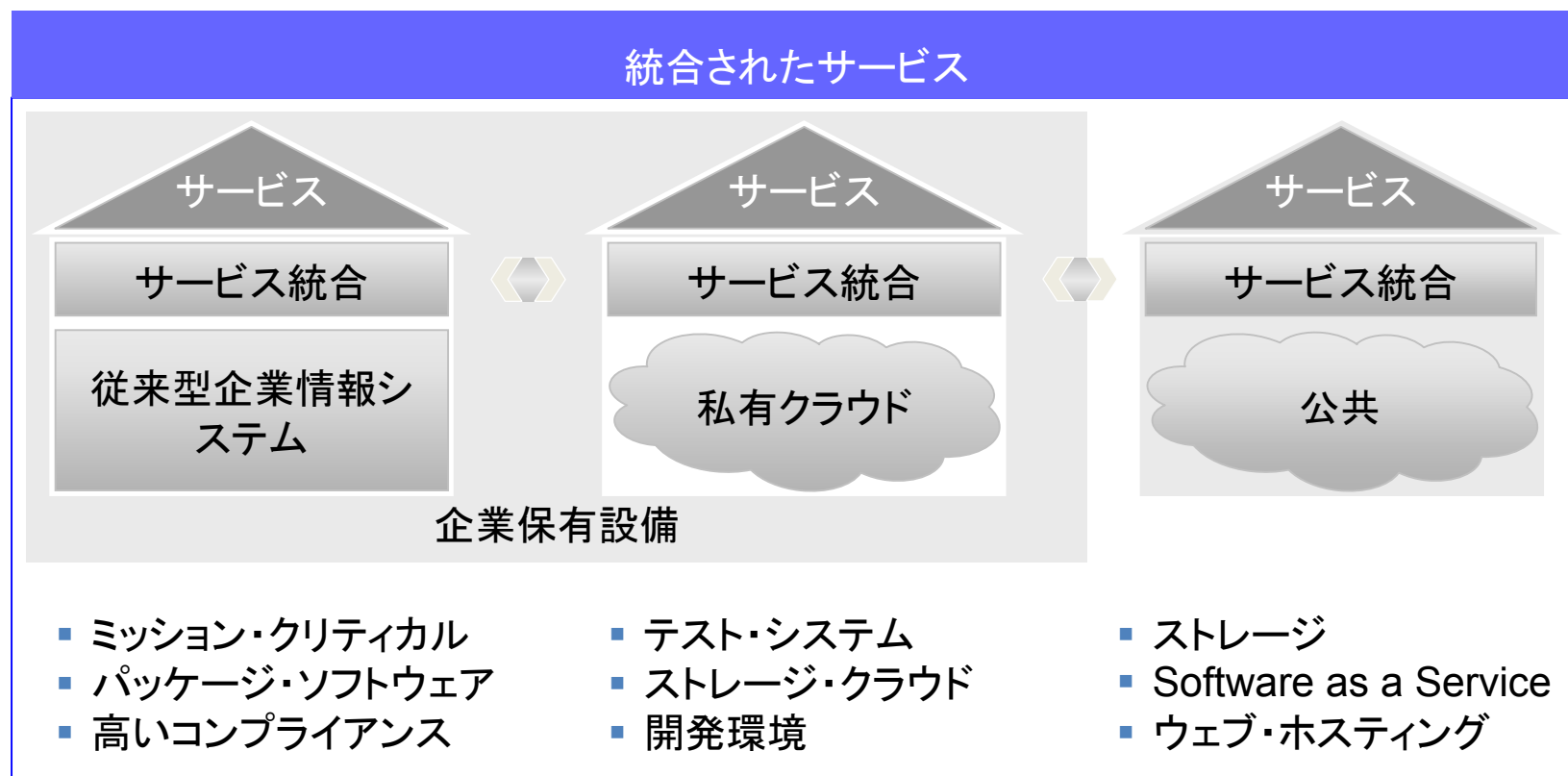
SaaSは何を提供するのか？



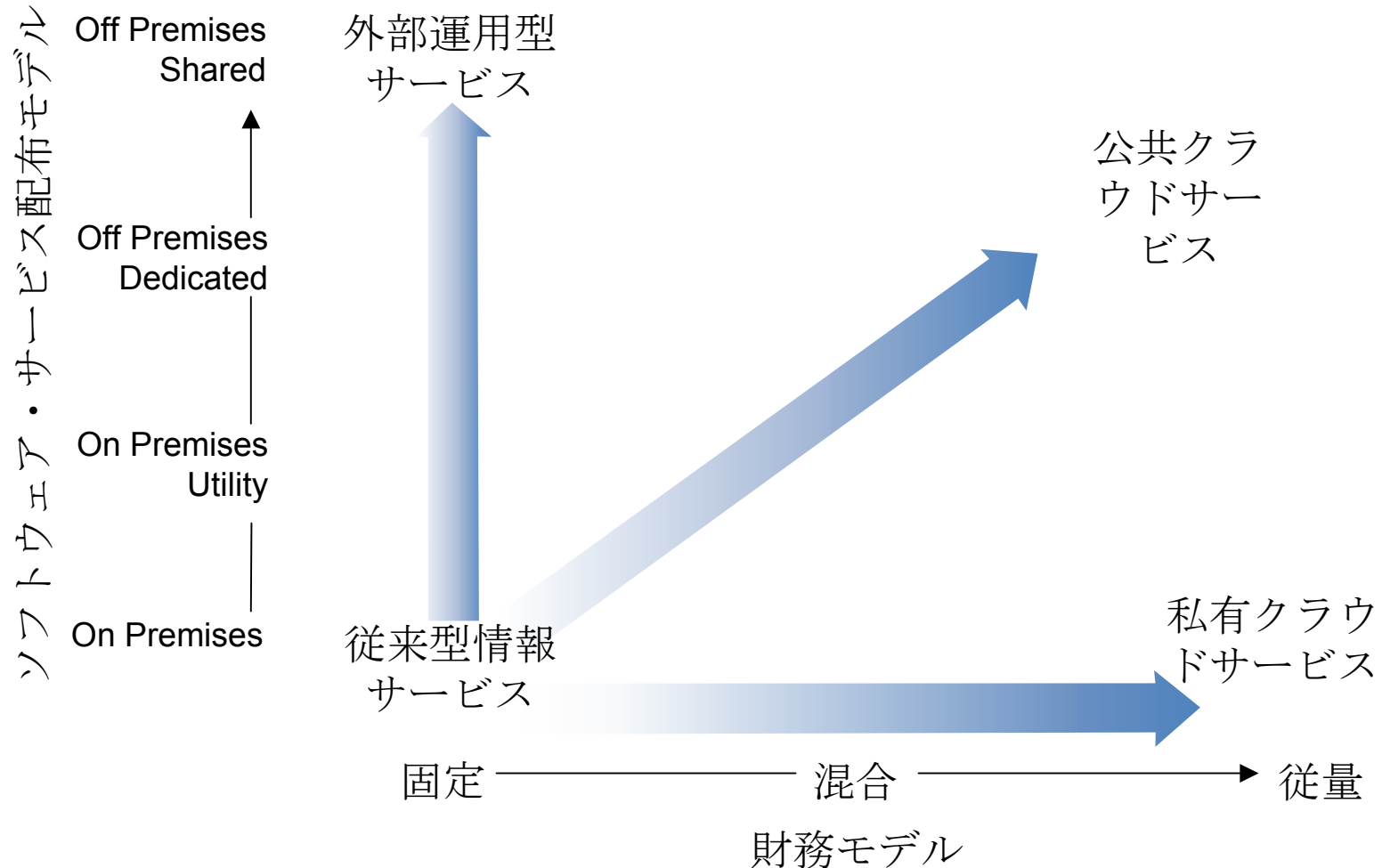
SaaSで提供されるサービス



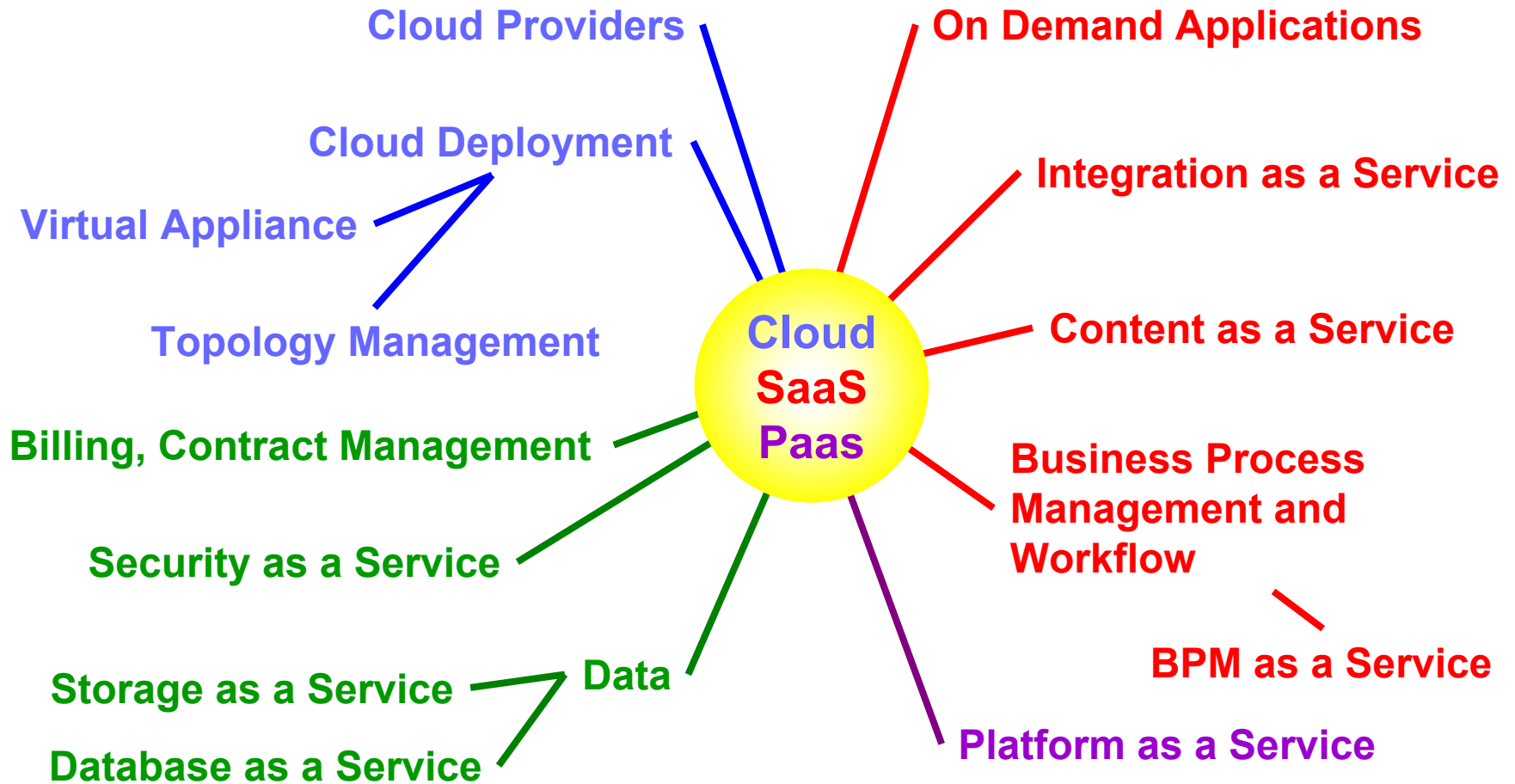
共存する幾つかのサービス提供モデル



企業規模および業種に応じた 適切なサービスモデルの選択および組合せ



SaaS, PaaS, Cloud Computing関連用語



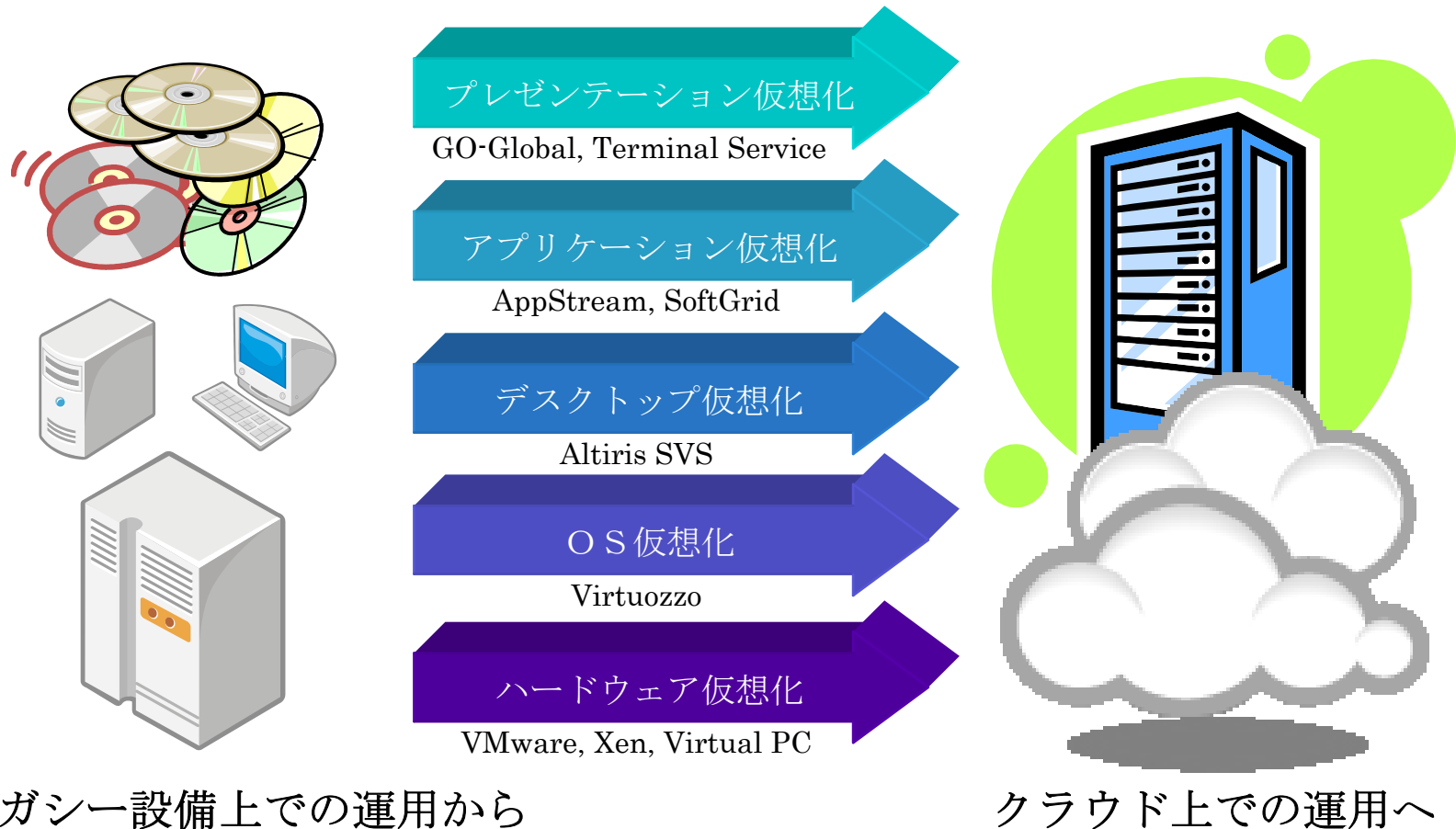
Peter Laird, Kent Dickson of BEA Systemsによる図を参照

既存アプリケーションを
インターネット配信可能にする
各種仮想化技術

SaaS/Cloud Computingの基盤技術は種々の仮想化技術



既存ソフトウェア資産の活用



いろいろな**仮想化技術**を活用し、既存ソフトウェア資産をインターネット上で、何処からでも利用可能にする。

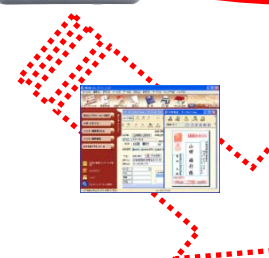
アプリケーション・インターフェイス配信

プレゼンテーション仮想化



アプリケーションはサーバ側で実行され、インターフェイス画面の描画情報のみが端末側に送信される。

ユーザには、アプリケーションが端末側で実行されているように見える。



アプリケーション・バイナリ配信

アプリケーション仮想化



アプリケーション・バイナリを事前に解析し、プログラム各部位の実行依存関係に基づき分割、保存される。これを、端末側からの要求に応じて、アプリケーション実行に必要な部位のみ送信し、端末側で実行する。

以下のような機能と共に提供される。

1. ユーザ管理・認証
2. ライセンス管理
3. アプリケーション配信管理
4. アプリケーション更新管理
5. 使用許諾管理
6. 利用履歴管理
7. オンデマンド配信



内蔵HD



デスクトップ・アプリケーション!!



内蔵HD

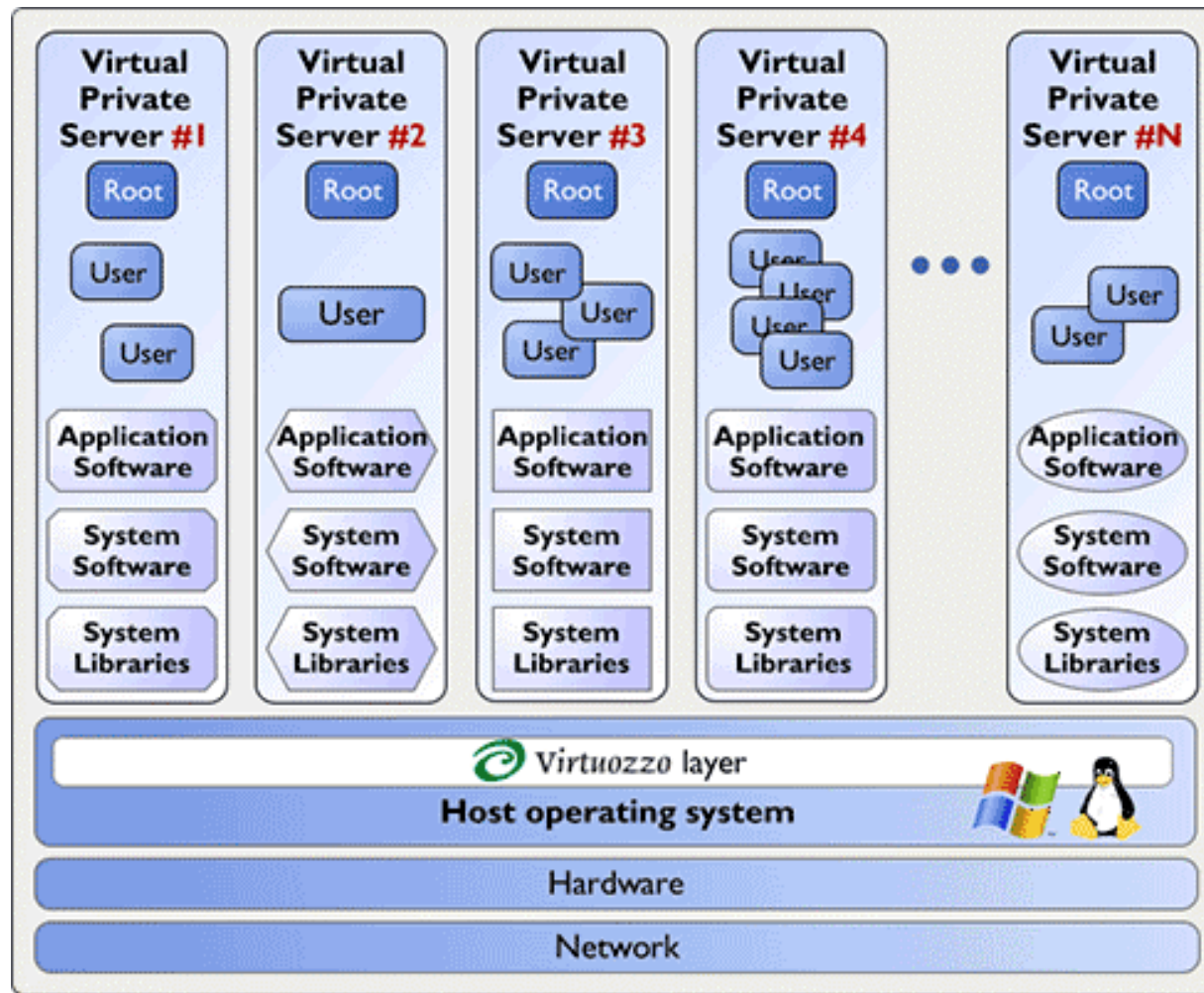


内蔵HD



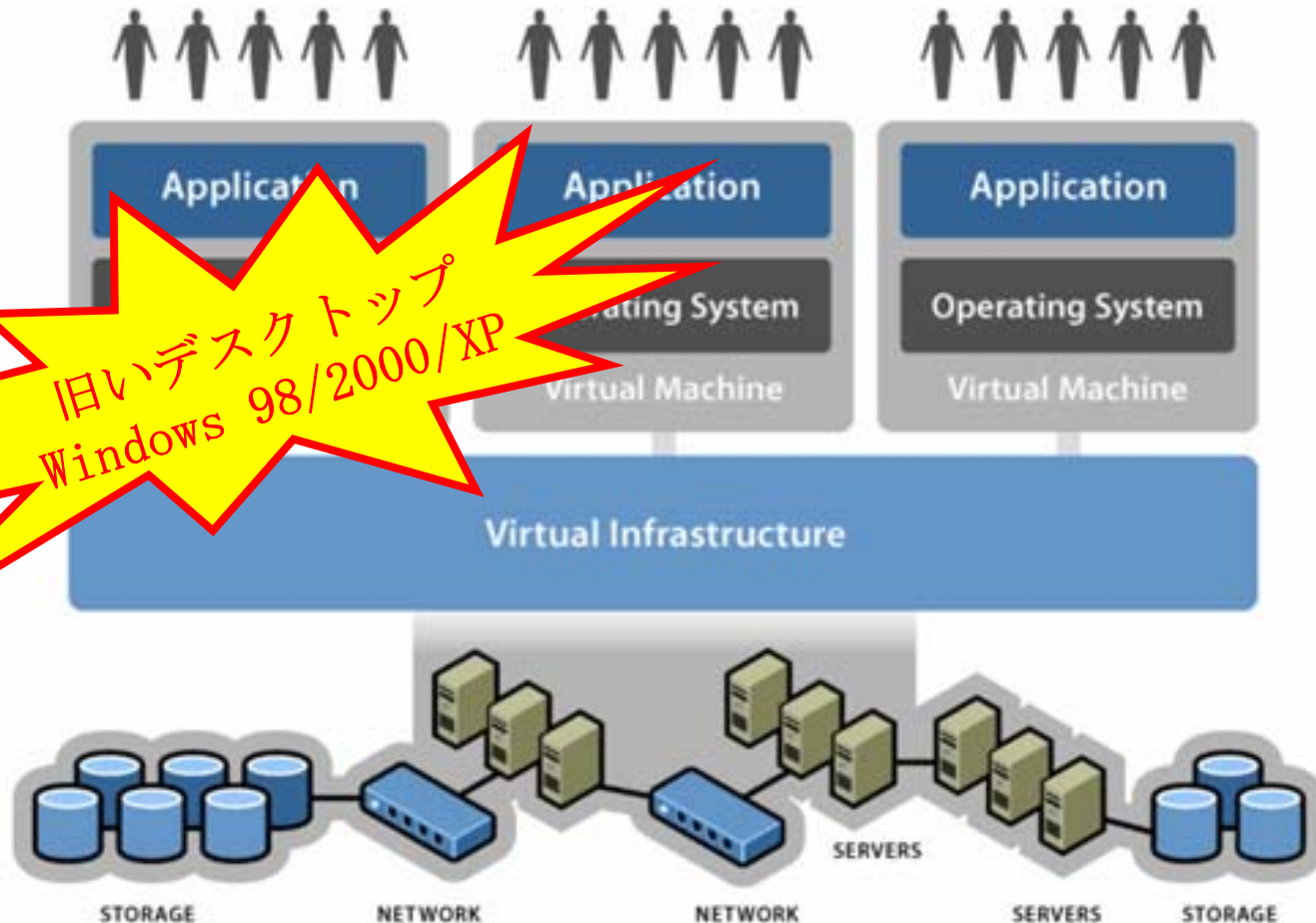
ホスティングコストの低減と可用性の向上

オペレーティング・システム仮想化

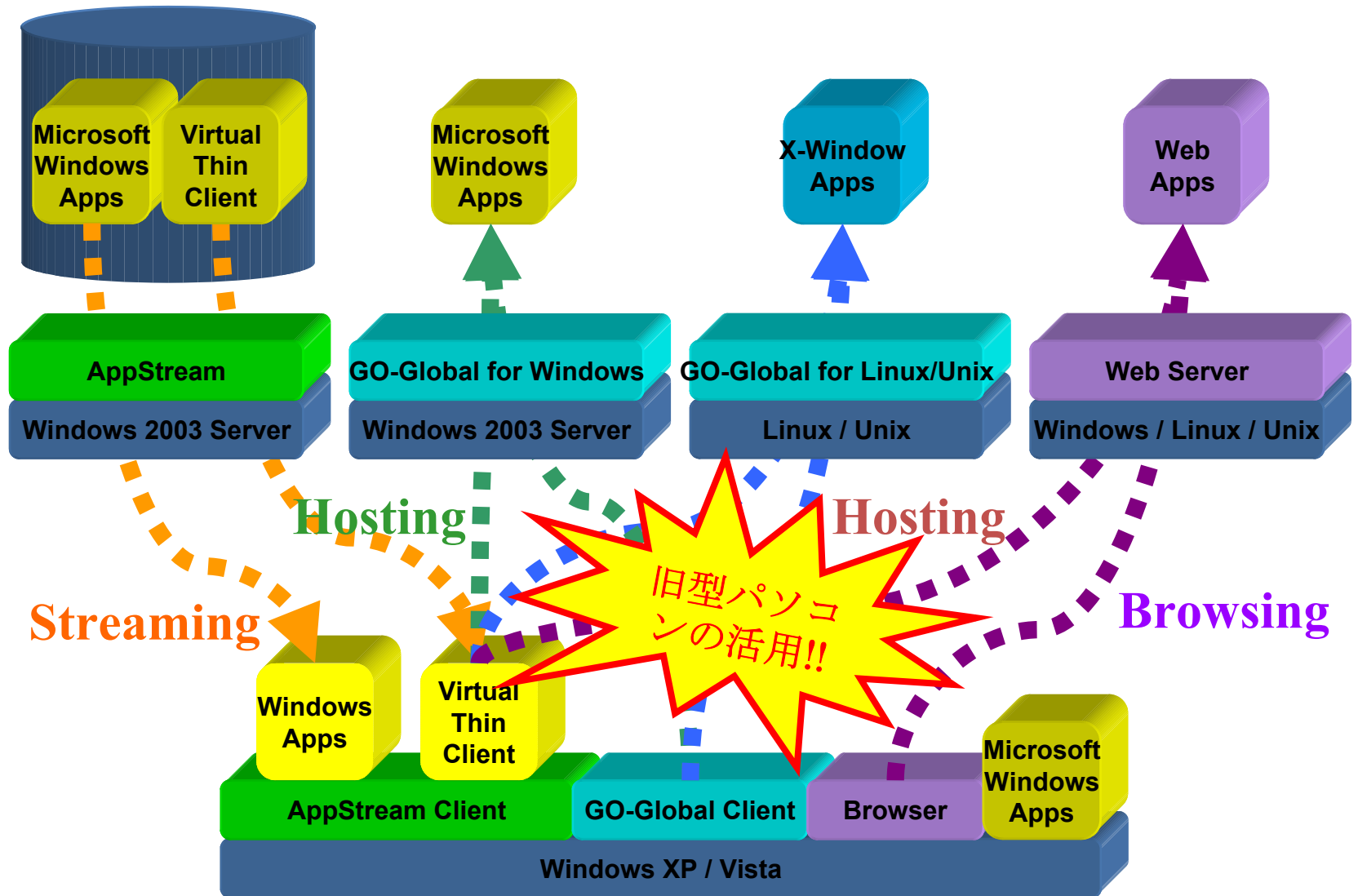


シングルユーザ・デスクトップ・ホスティング

ハードウェア仮想化



各技術を利用したアプリケーション配信

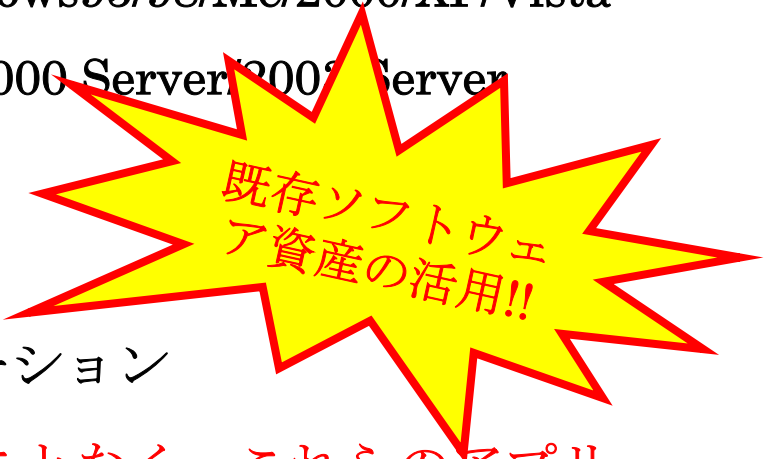


きっとエイエスピー社の考える ハイブリッドSaaSプラットフォーム

既存ソフトウェア資産を活用したサービス開発

現時点で、先の展望が見えないSaaS市場への参入のための新たなソフトウェア開発は、大きな事業リスクを伴う。したがって、既存ソフトウェア資産の活用が鍵となる。

- ウェブ・アプリケーション
- ウェブ・サービス
- マイクロソフト・ウィンドウズ・アプリケーション
デスクトップ・アプリケーション Windows95/98/Me/2000/XP/Vista
サーバ・アプリケーション Windows 2000 Server/2003 Server
- Xウィンドウ・アプリケーション
Linux, Solaris, AIX, HP/UX
- クライアント・サーバ・アプリケーション



既存ソフトウェア
資産の活用!!

そのソースコードに一切手を加えることなく、これらのアプリケーションを、SaaS化することを基本方針とする

ハイブリッドSaaSプラットフォーム

SaaSプラットフォームは、

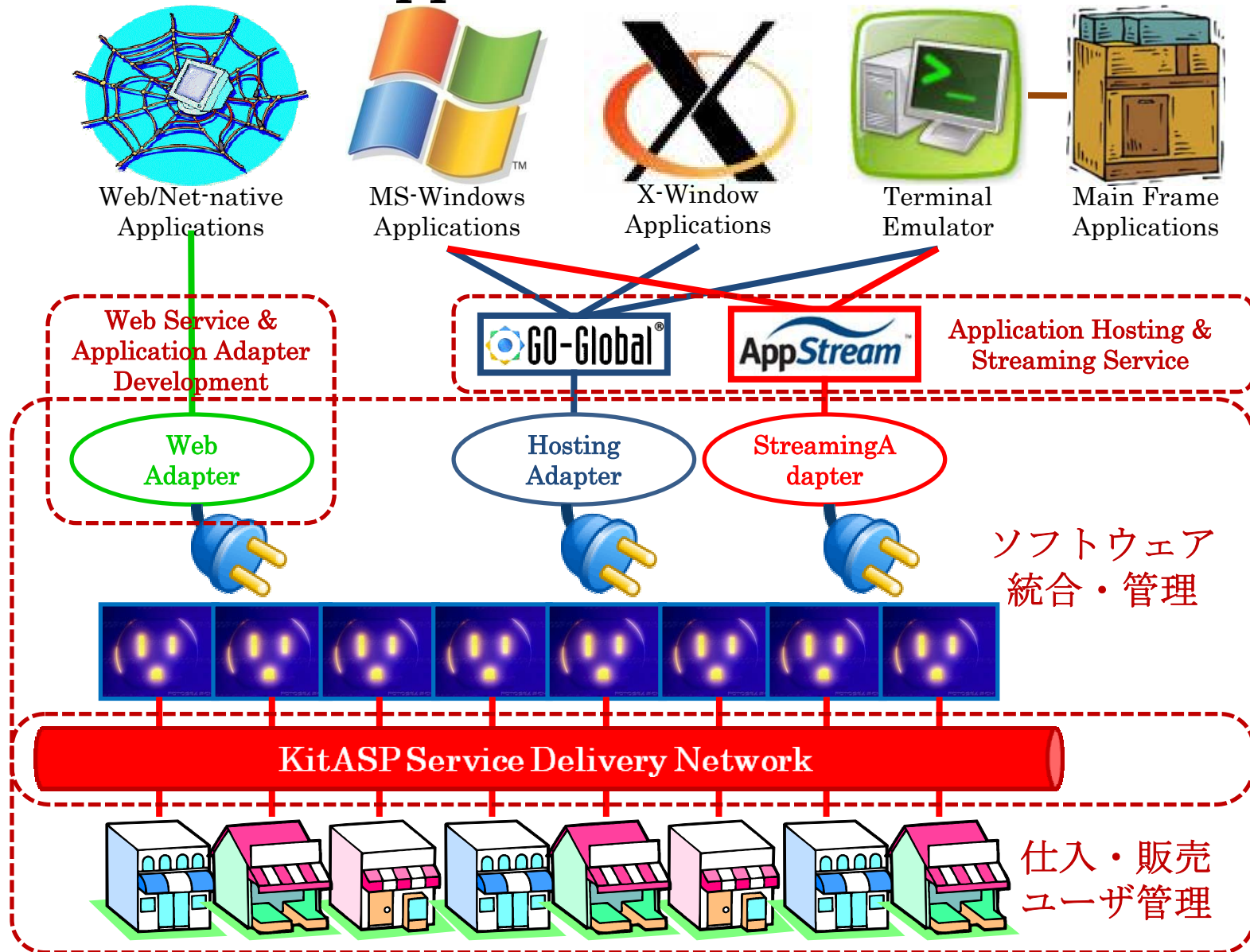
- ウェブ系アプリケーションばかりでなく、
- 非ウェブ系サーバ・アプリケーション、
- クライアントサーバ・モデルによるアプリケーション、
- マイクロソフト・ウィンドウズ・デスクトップ・アプリケーション、
- アプリケーション利用に必要な各種ユーティリティ

等を統合し、サービスとして配信する機能を提供しなければならない。

これを実現するのが、

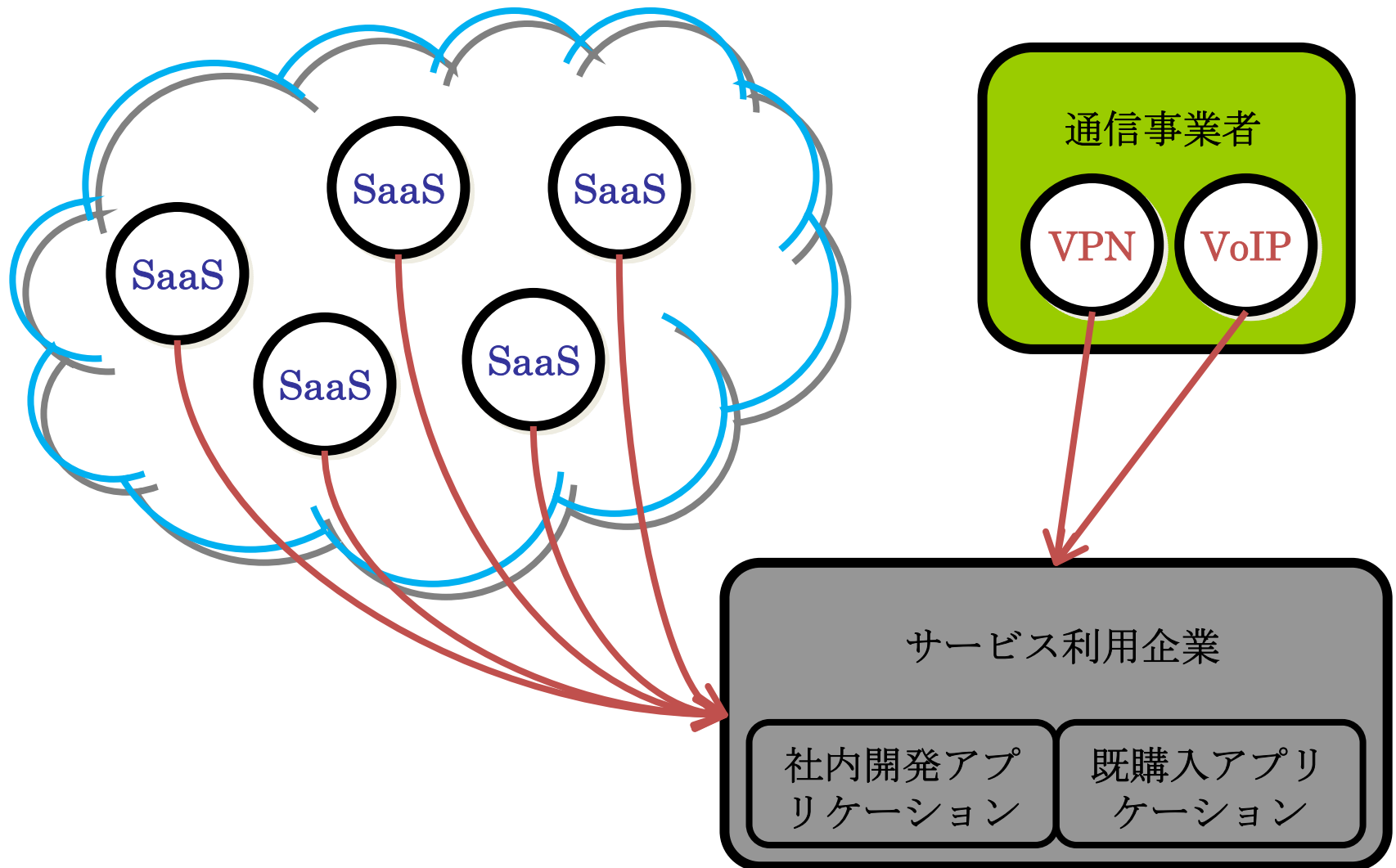
ハイブリッドSaaSプラットフォーム
KitASP Application Service Platform

KitASP Application Service Platform

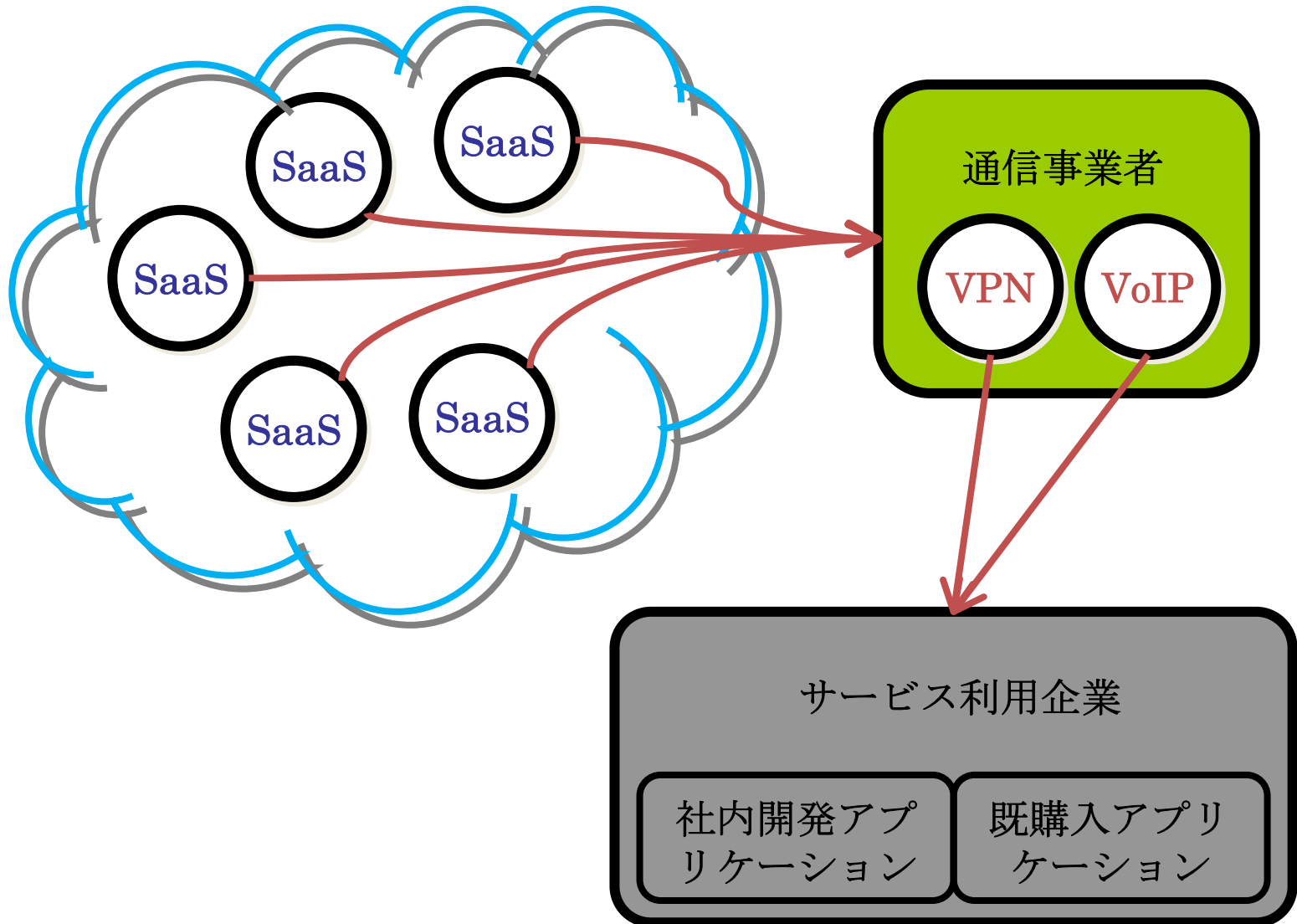


SaaS提供／利用モデルから見る
SaaSサービス統合基盤
KitASP Service Delivery Network

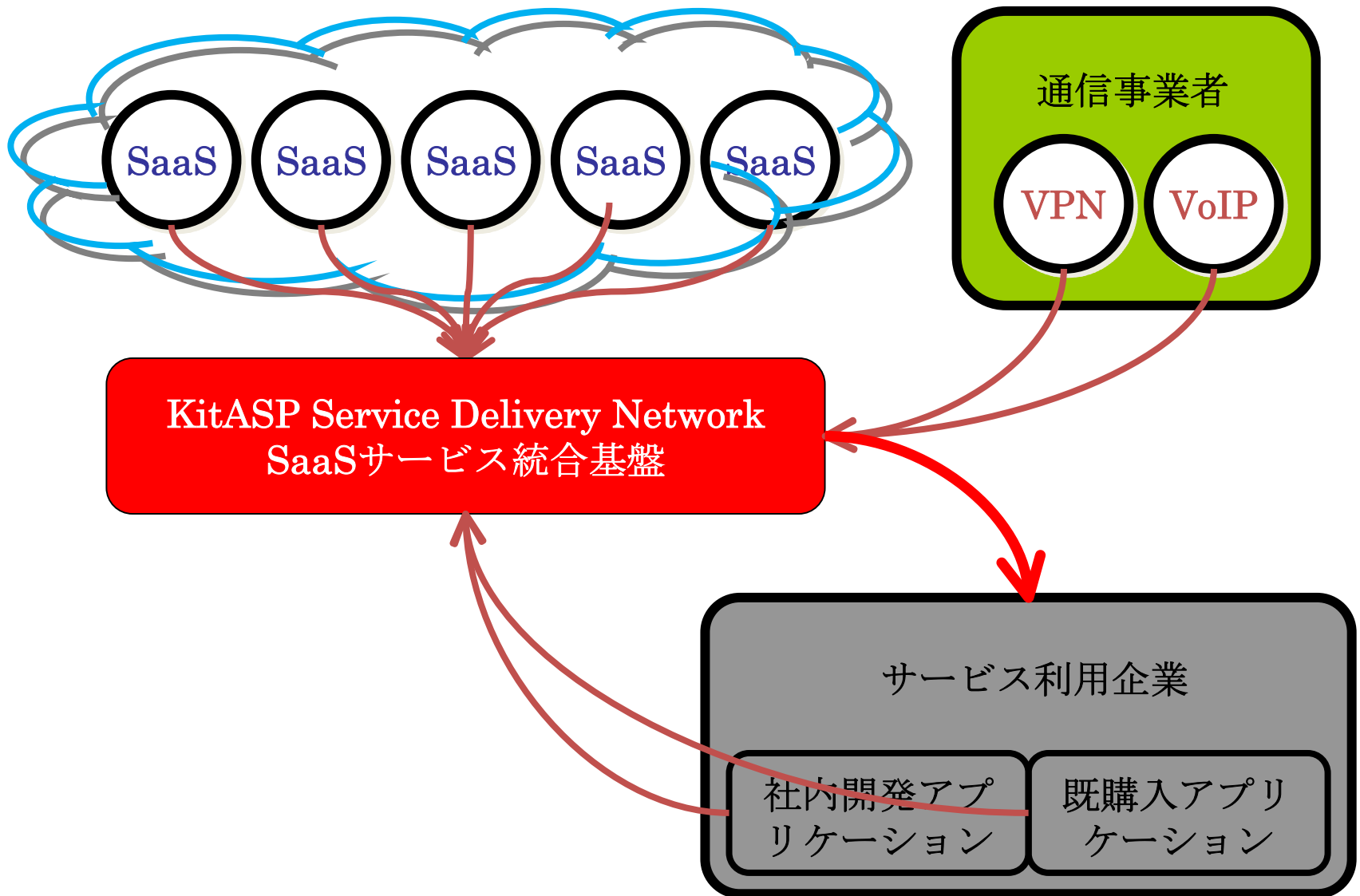
SaaS直接販売モデル



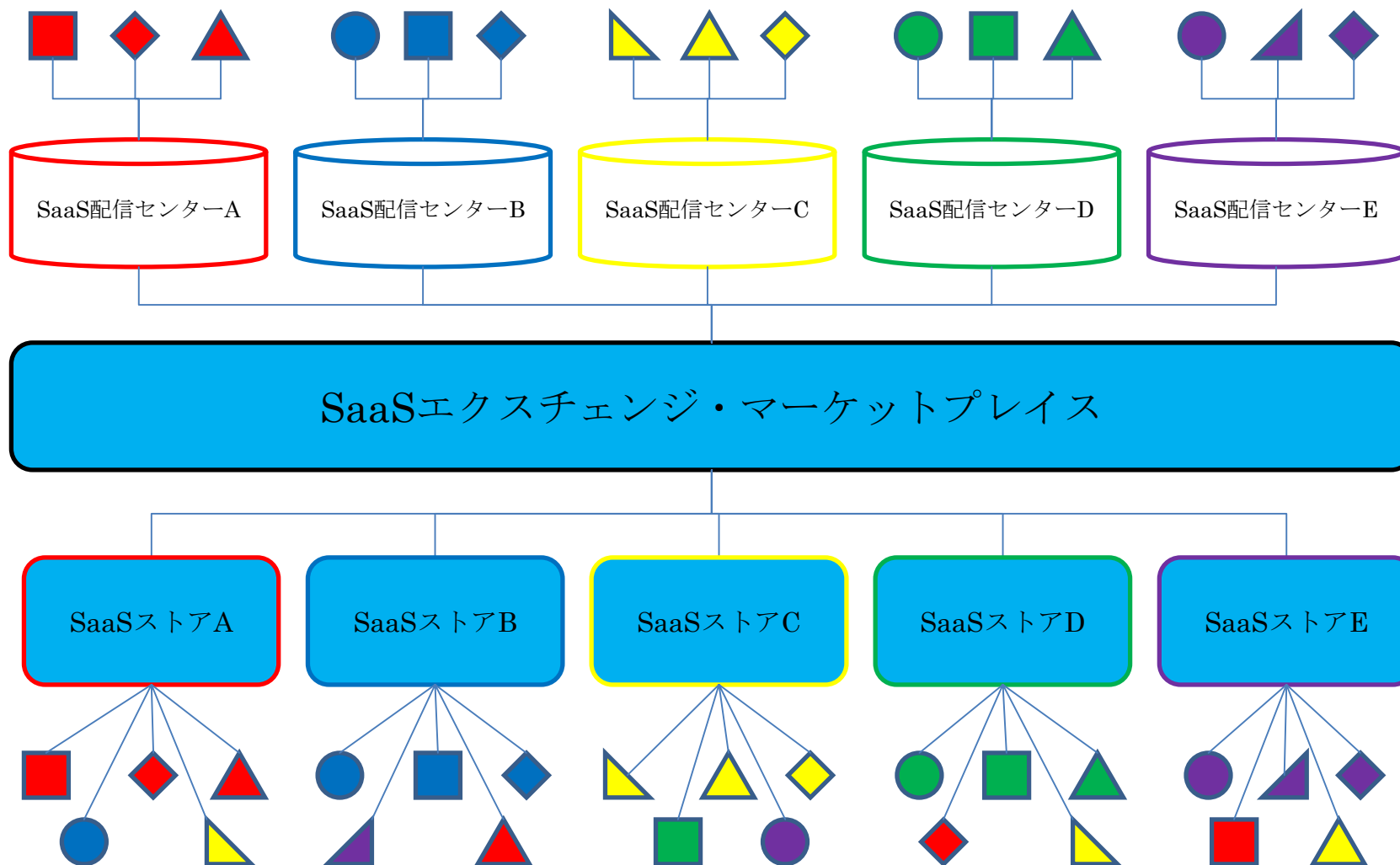
SaaS付加価値再販モデル



サービス統合型SaaS販売モデル

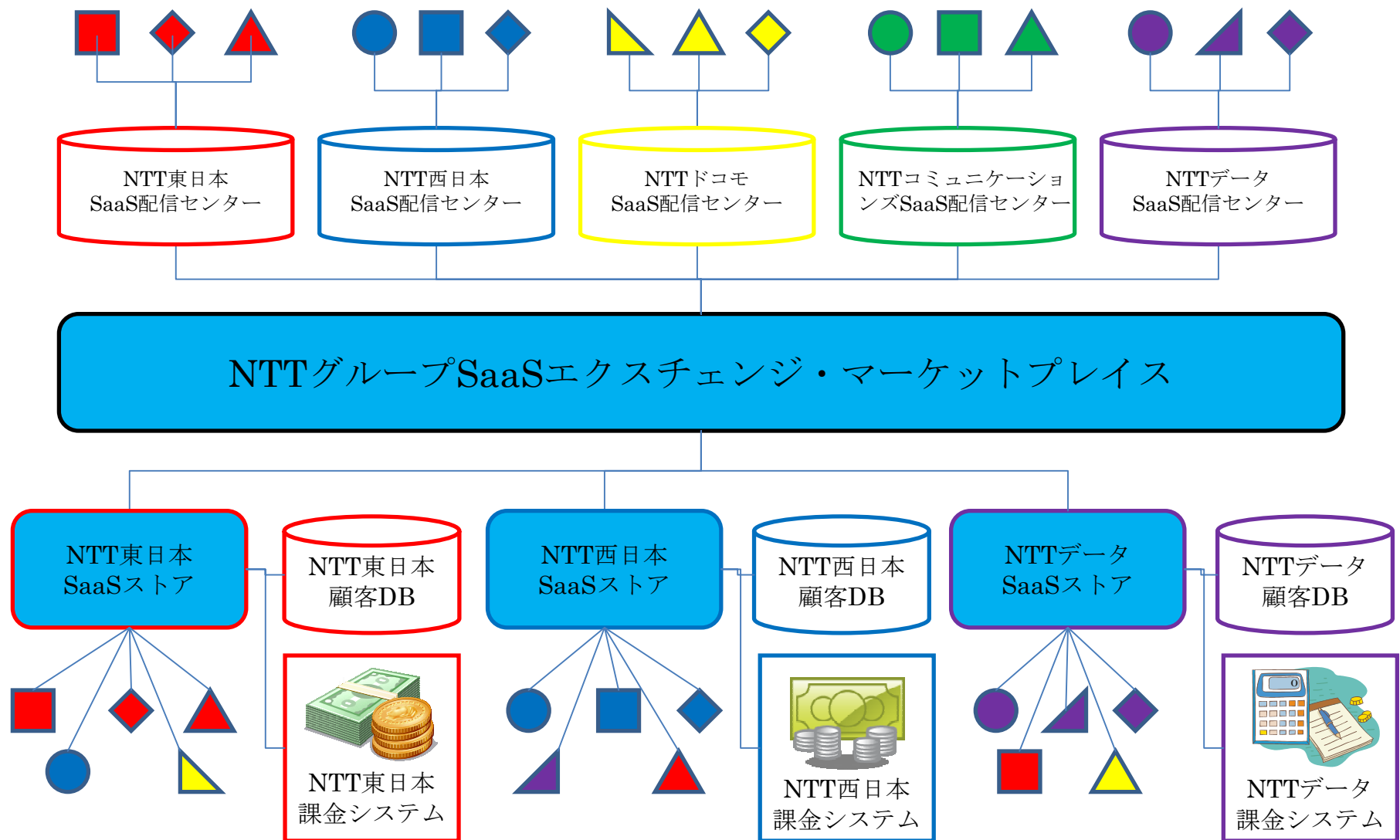


SaaSエキスチェンジ・マーケットプレイス



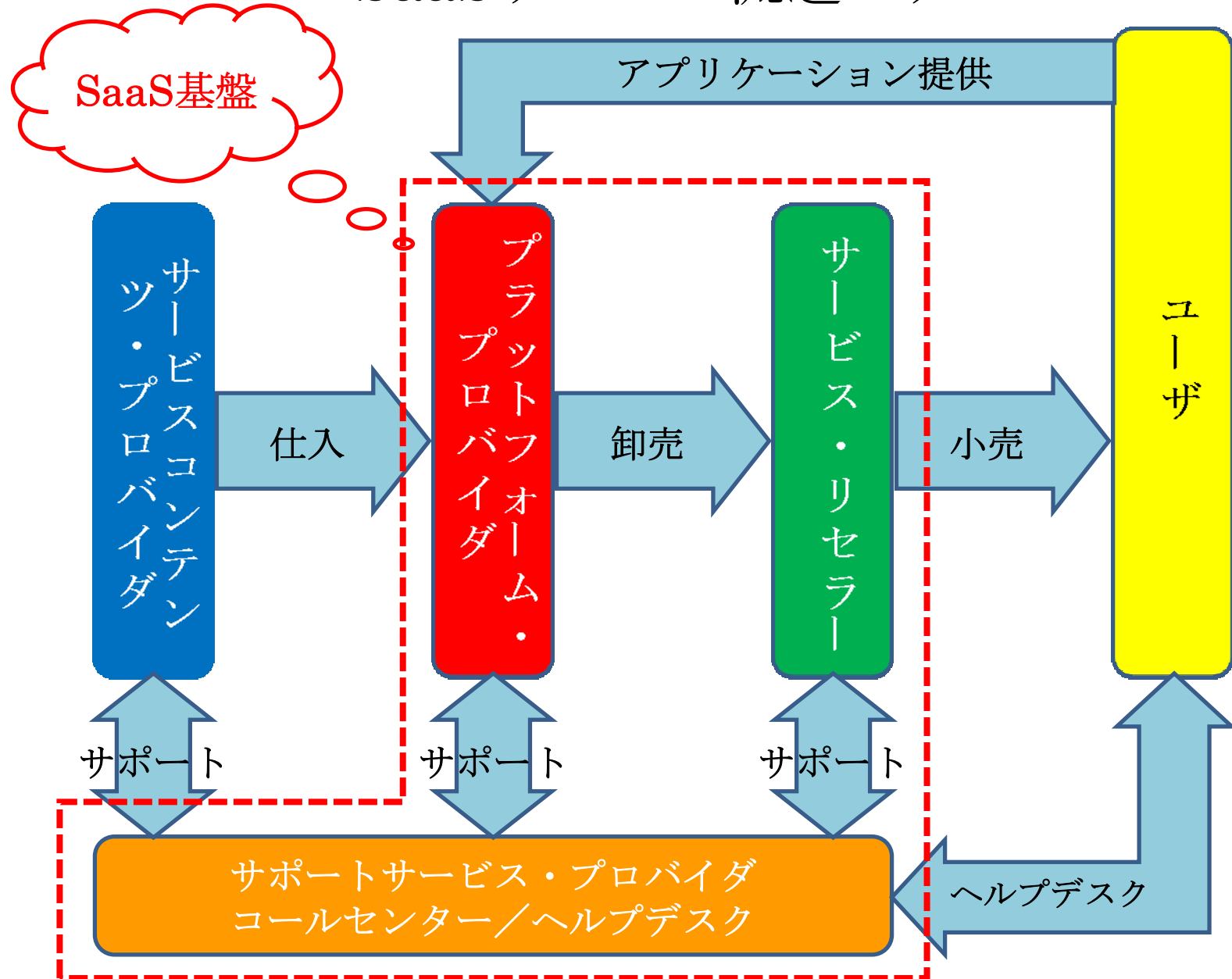
SaaSエクスチェンジ・マーケットプレイス(2)

グループ各社独自の顧客管理・課金システム



SaaS事業振興における I Tコーディネータの皆様への期待

SaaSサービス流通モデル



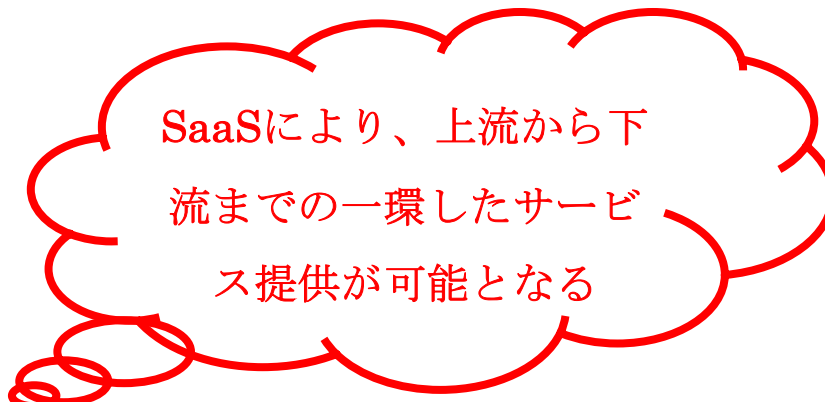
SaaSビジネスにおける既存情報通信事業者の役割

	サービス企画 開発・提供	サービス市場 ポータル	サービス小売 店舗運用	ユーザ教育・ 導入支援	ユーザ管理・ サポート
通信事業者	△	◎	○	×	×
ハードウェア・ベンダー	○	◎	○	×	×
ソフトウェア・ベンダー	◎	×	◎	×	×
大手システム・インテ グレータ	◎	○	○	◎	◎
情報製品流通問屋	△	◎	◎	×	×
中小システム・インテ グレータ	○	×	○	◎	◎
情報製品小売業	×	×	△	×	×
I Tコーディネータ	×	×	○	○	○

ITコーディネータに求められる能力（抜粋）

ITコーディネータ資格認定制度では、これらを次の5つの活動フェーズ

- ・ 経営戦略フェーズ
- ・ IT戦略策定フェーズ
- ・ IT資源調達フェーズ
- ・ IT導入フェーズ
- ・ ITサービス活用フェーズ



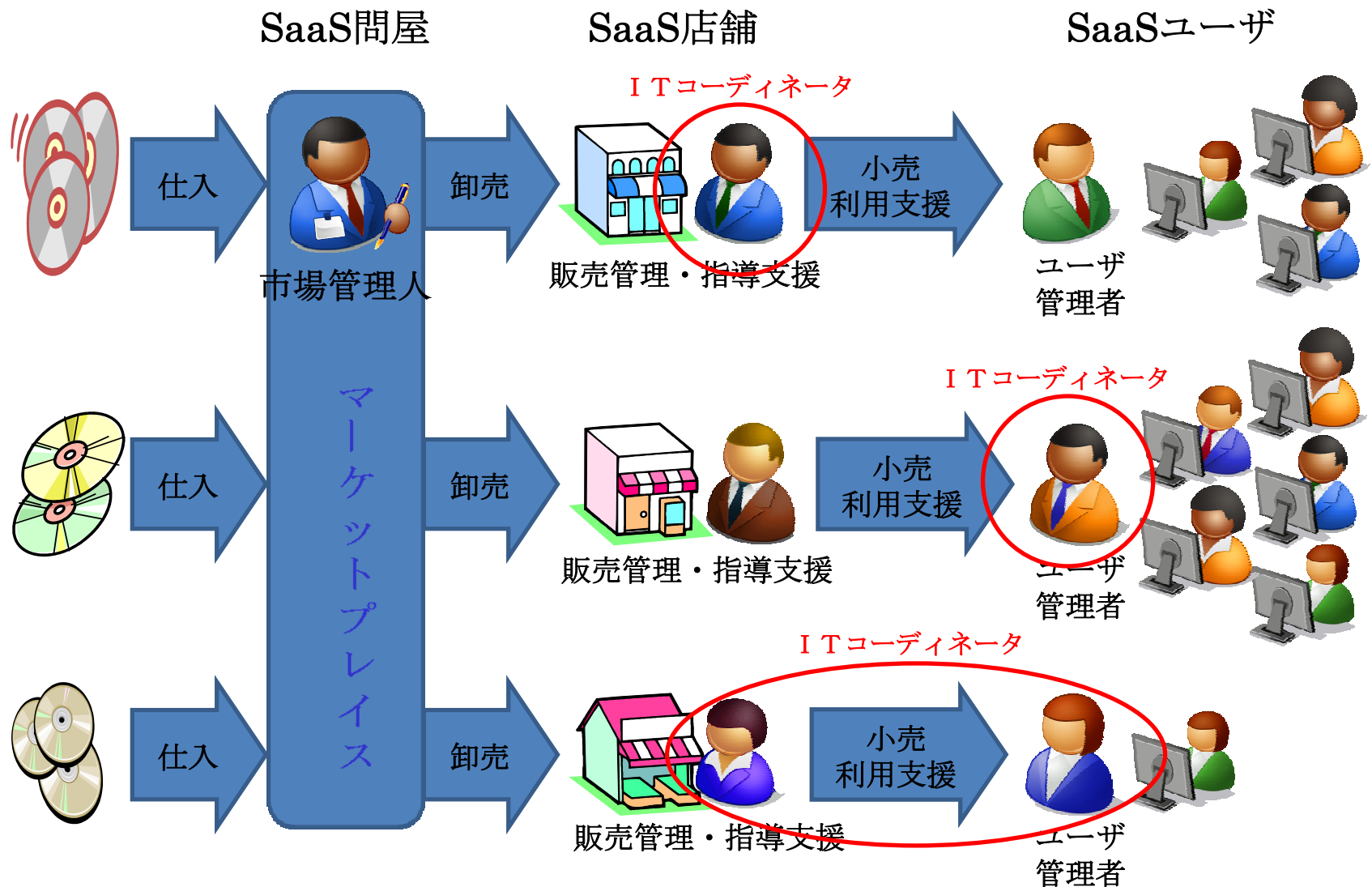
SaaSにより、上流から下
流までの一環したサービ
ス提供が可能となる

と、この5つ活動フェーズ全体をプロジェクトとしてとらえ、

- ・ 各フェーズの活動を最適な方向に導く「プロセス&プロジェクトマネジメント」能力
- ・ 経営者をはじめユーザーやITベンダーとの「コミュニケーション」能力
- ・ 活動の成果を「評価基準」に基づいてチェック、監理する「活動のモニタリング&コントロール」能力

と体系化しています。

SaaSサービスを利用者に届ける人々



日本型SaaSエコシステム構築のための
「SaaSパートナーズ協会」
設立のご提案

設 立 目 的

情報通信産業のサービス産業への移行を促進するため、従来型情報通信産業のサービス産業への構造適正化を図り、他業界、他業種振興団体に協力・支援を仰いで市場へのSaaS啓蒙活動を行うと共に、ソフトウェア・ベンダー、システム・インテグレータへのSaaS事業参入支援、ユーザへのSaaS導入支援体制を構築することにより、日本型SaaSビジネス・モデルおよびエコシステムの確立と市場への定着を目指す。

活 動 内 容

- 各種公益団体、振興団体、マスメディアとの提携により市場のSaaSへの理解を高める。
- ソフトウェア・ベンダー、システム・インテグレータへのSaaS事業参入支援体制を構築する。
- ユーザに対するSaaS導入、活用、障害対応のための支援体制を確立する。
- オープンソース・ソフトウェアのSaaS事業への活用を促進する。
- オーバー・ザ・トップ・サービス・プロバイダとの事業連携を促進する。
- 各々の事業分野に適した事業基盤としてのSaaSモデルの確立を図る。
- その他、SaaS事業の普及促進に関わる諸活動

各業界業種振興団体・公益団体との関係による 日本型SaaS振興のためのスキーム

SaaS導入支援・教育・指導・評価
SaaSユーザ・ニーズ発掘

各地域ITコネクティティ団体

ERP, BPM, ITIL振興団体

各地域
税理士、中小企業診断士等団体

各地域情報サービス産業協会

コンピュータソフトウェア協会

会長：和田成史

オービックビジネスコンサルティング社長

専務理事：前川徹

元通産省機械情報産業局情報政策企画室長

SaaSサービス・コンテンツ開発・提供
サービス・インテグレーション

SaaSパートナーズ協会（仮称）

通信会社、データセンター事業者、システム・インテグレータ、
SaaS基盤技術、商社、金融、ASP/SaaS事業者

SaaS事業基盤サービス開発・提供

「ITコーディネータ」の皆様へのご提案

「SaaSマーケットプレイス」上で運営される
「ウェブ・ストア」（SaaS小売店舗）の事業主になりませんか？
ご自分のお名前や所属される企業名で、
「ウェブ・ストア」を運営することができます。

売上げ

サービス小売販売
サービス利用教育
サービス導入支援
ユーザ管理代行
サービス活用支援

経 費

サービス仕入
ウェブ・ストア管理費

ご関心を頂けるようでしたら、弊社までお声をお掛け下さい。

ありがとうございました



kitASP

Application Deployment Company

株式会社 きっとエイエスピー

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12 壺丁目参番館2階

電話 : 03-3350-9300 FAX : 03-3356-4450

<http://www.kitASP.com/>